

3 市内高校生が地域課題を解消、

特定外来生物「アカミミガメ」対策へ

磐田農業高校の生徒がアカミミガメの駆除、そして堆肥化

磐田市の魅力の1つであるトンボの楽園「桶ヶ谷沼」では、条件付特定外来生物であるアカミミガメにより、生態系への被害が課題となっています。そこで磐田市は、磐田農業高校の生徒とNPO法人桶ヶ谷沼を考える会と連携して、駆除と堆肥化による活用の実証事業を実施します。

1 事業概要

アカミミガメを捕獲するための捕獲器を磐田農業高校の生徒が製作し、桶ヶ谷沼を考える会と一緒に捕獲器の設置を行います。捕獲したアカミミガメは磐田農業高校で堆肥化して、その後、堆肥の成分分析を行い、活用の可否を検証していきます。

2 活動スケジュール

月日	活動内容
5月22日	特定外来生物の影響に関する講話（事前準備） 実施場所：桶ヶ谷沼ビジターセンター
6月下旬	生徒が自作のアカミミガメ用捕獲器を作製（事前準備） 製作場所：磐田農業高校内
7月31日(水) 13時30分～	桶ヶ谷沼を考える会と捕獲器を設置 設置場所：桶ヶ谷沼及びその周辺地域
8月下旬	捕獲したアカミミガメの駆除、堆肥化実証開始 実証場所：磐田農業高校内
11月中旬	堆肥の成分分析
12月中旬	活動報告 報告場所：磐田農業高校内 他

3 その他

今年度の実証結果を踏まえて、次年度以降の活動を磐田農業高校、桶ヶ谷沼を考える会と協議します。